

#### 4. 涙そうそう

森山良子が、ライブで共演した BEGIN と意気投合し、沖縄の曲を依頼した。BEGIN から送られたデモテープのタイトルに書いてあった「涙そうそう」は沖縄の言葉で「涙がぼろぼろこぼれ落ちる」という意味であると聞き、森山が若くしてこの世を去った兄を想う歌詞をつけた（しかし、別れの歌、卒業ソングとして親しまれている）。

#### 5. 虹の彼方に

1939年のミュージカル映画『オズの魔法使』でジュディ・ガーランドが歌った劇中歌。エドガー・イップ・ハーバーク作詞、ハロルド・アーレン作曲。1939年のアカデミー歌曲賞を受賞している。結果「虹の彼方に」はアカデミー歌曲賞を受賞して大ヒットし、世界的に広く親しまれ、数知れぬカバーの対象となってきた。2001年に全米レコード協会等の主催で投票により選定された「20世紀の名曲」(Songs of the Century)では第1位に選ばれた。



協力：NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは  
若手演奏家を支援し、地域により身近に  
音楽をお届けします！！

<http://yuzuriha-art.or.jp/>  
Tel. 070-5652-8878

## 兵庫県立加古川南高等学校 音楽鑑賞会

平成29年3月17日(金)

### ヴァイオリン・クラリネット・ピアノの音色 を楽しむ

#### プログラム

##### 1. モーツァルト

ピアノ、クラリネットとヴィオラのためのソナタ  
変ホ長調 K.498 ケーゲルシュタット  
第1・第2楽章

##### 2. クラリネットポルカ（ポーランド民謡）

##### 3. ショパン：バラード 第1番 ト短調 op.23

##### 4. 涙そうそう

##### 5. 虹の彼方に



**Violin 高原 里紗 Risa Takahara**



兵庫県立西宮高校音楽科卒業。相愛大学音楽学部卒業。同大学在学中、学内オーディションにて、斎藤秀雄奨学金授与。同大学の卒業演奏会に出演。2011年大阪国際コンクールファイナリスト。入賞。第24回クラシック音楽コンクール大学生部門、全国大会出場。これまでに、井上雅善、近藤緑、東儀幸、若林暢、加納千春、池川章子氏に師事。現在、京都市立芸術大学大学院2回生。豊嶋泰嗣氏に師事。

**Clarinet 山内 静 Shizuka Yamauchi**

同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業後、同大学音楽学会《頌啓会》特別専修生修了。関西音楽大学協会主催第30回アンサンブルの夕べ、第51回関西新人演奏会に出演。在学中、学内に於いて2009年度石村雅子賞受賞。第20回日本木管コンクール入選、第23回宝塚ベガ音楽コンクール入選。R.Guyot、W.Meyer、M.Spangenberg 各氏のマスタークラスを国内外で受講。現在オーケストラ、アンサンブル、ソロなどで精力的に演奏活動を行う傍ら、後進の指導にもあたっている。神戸フィルハーモニック団員、さくら木管五重奏メンバー、たつの市音楽協会会員。これまでに渡邊弥生、山川すみ男の各氏に師事。



1. モーツァルト：ピアノ、クラリネットとヴィオラのためのソナタ 変ホ長調

K.498 ケーゲルシュタット

1786年に作曲された。「ピアノ三重奏曲第2番」と呼ばれることもある。友人のクラリネット奏者アントン・シュタットラーらと演奏するために作曲された。モーツァルトはピアノの名手として有名だが、ヴィオラを弾いたことでも知られる。モーツァルトは、当時発明されて間もないクラリネットに興味を持ち、幾つかのクラリネットの曲を残している。この「ケーゲルシュタット・トリオ」はクラリネットを独立して扱ったおそらく最初の作品である。また、ヴィオラパートも魅力的であり、奏法的にも、一つの独立した声部としての取り扱い方からいっても、その能力を十分に発揮させた作品といえる。



**Pianot 誉田 真弓 Mayumi Konda**



兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業。第14回兵庫県学生ピアノコンクールC部門最優秀賞。第28回兵庫県高等学校独唱独奏コンクール優秀賞。2010・2011年新進音楽家演奏会出演。第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会入賞。ル・ポン2013・2014・2016国際音楽祭プリコンサートに出演。京都フランス音楽アカデミーセミナーに参加。2014年大学主催ピアノフェスティバルに出演。姫路交響楽団と共演。ザルツブルクにてモーツァルテウム音楽大学夏期国際音楽アカデミーに参加、ディプロマを取得。第5回クオリア音楽フェスティバルオーディション第1位。日仏ピアノコンクール第1位。第2回刈谷国際音楽コンクール奨励賞。第28回宝塚ベガ音楽コンクール入選。兵庫県立美術館主催「美術館の調べ」他、京都や地元赤穂、ストラスブル（フランス）にてソロリサイタルを行う。これまでにピアノを富田英津子、坂本恵子、坂井千春、イリーナ・メジューエワの各氏に、室内楽を上森祥平氏に師事。現在、京都市立芸術大学大学院修士課程に在籍、田村響氏のもとで研鑽を積む。

2. クラリネットポルカ

ポルカは、軽快で明るい2拍子のリズムで、ポーランドなどの山岳地帯で愛されている民族舞曲。駆け上がるようなアルペジオを中心としたポルカは、主にクラリネットのソロやアンサンブルで演奏される。頻りに登場するアルペジオは演奏技巧的に大変だとされるが、クラリネットの音色が綺麗に響きやすいクラリオン音域を中心に構成されているので、クラリネットの魅力を表現するのにぴったりだとも言われる。

3. ショパン：バラード 第1番 op.23

ソナタ形式の変形で書かれた大曲で、ショパンのバラード4曲中、極めて人気の高い作品。4/4拍子の変イ長調のユニゾンで始まる序奏に続き、ト短調の第1主題は、陰鬱で捉えどころのない旋律。続いて登場する変ホ長調の第2主題はすがすがしく爽やかで、聴く人の心に真っ直ぐに入り込んでくる美しい旋律となっている。第2主題がイ長調で大爆発する部分以降は、演奏効果が極めて高く、技術的にも難しく書かれており、ショパンの粋なピアノイズムがふんだんに盛り込まれている。最後を飾る Presto con fuoco の劇的なコーダは、この作品の最大の聴かせどころであり、技術的な難所としても知られている。